事例No.	1746
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	兵庫県豊岡市

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・税財政 ・財政指標の設定

事例種類	その他

事例内容・タイトル

料金改定の必要性に言及した経営戦略の策定

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【兵庫県豊岡市】
料金改定の必要性に言及した経営戦略の策定

その他　水道事業

兵庫県豊岡市上下水道部水道課

● 取組の概要

水道事業の安定した経営の確保に向け、具体的な料金改定に言及した経営戦略を策定した。

◆総事業費　なし

◆背景

- 当市の水道事業では、給水人口、水需要及び給水収益が減少傾向にあり、今後もその傾向が続くことがほぼ間違いない状況にある一方、今後多くの施設が法定耐用年数を迎え、多額の更新費用を要することが想定される。
- このような状況を踏まえ、水道事業の安定した経営の確保に向け、中長期的な経営の基本計画を作成する必要があった。

◆具体的内容

- 経営戦略において、「料金収入で賄うべき費用を料金収入できちんと確保する」という原則を明確化し、料金算定期間（5年間）の資産維持費を含めた総括原価から必要な料金収入を検討した。
- 具体的には、12年後の目標（施設の耐震化率の向上、有収率の向上、企業債残高の半減）を設定し、あわせて、当初の見通しから総括原価を減少させる企業努力（投資・財政計画の見直しによる事業費総額の減額及び減価償却費の抑制、企業債の借入期間を短くすることによる支払利息の抑制）を行った上で、料金改定の必要性について言及した。

◆効果

- 料金改定の時期及び平均改定率を具体的に示したこと、また、企業努力による経費削減を盛り込むことで、実際の料金改定の検討を、一定の理解を得た状態で進めることができた。
- 検討開始時点の投資・財政計画では、令和3年4月に平均改定率16.5%、令和8年4月に平均改定率10.0%の値上げが必要と試算していたが、企業努力による総括原価の削減を詳細に検討することで、それぞれ11.6%、8.7%と算定し、値上げ予定幅を削減した。

● 取組のポイント

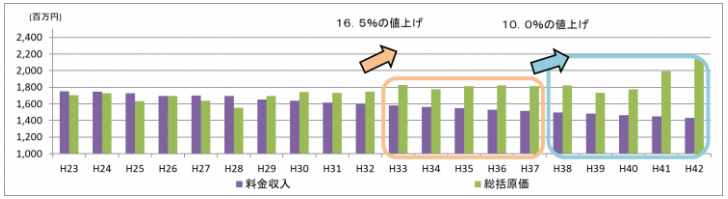
- 企業努力による経費削減を盛り込むことで、料金改定の納得感を醸成した。

● 公営企業情報

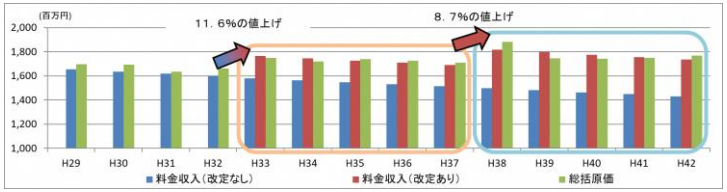
- 行政区域内人口　78,873人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　697.55km²（令和4年1月1日時点）
- 給水人口　78,326人（令和3年度決算）

経営戦略における料金収入と総括原価の見込み

投資・財政計画見直し前



投資・財政計画見直し後



● 取組のスケジュール

- 平成30年1月に検討を開始。
- 平成30年5月策定、公表。

● 今後の展望

- この経営戦略における見通しを精査して料金改定の検討を行った。新型コロナウイルス感染症の影響等により、料金算定期間を令和4～8年度に変更し、令和5年4月1日からの改定が決定した。
- これを踏まえた経営戦略の改定に向け作業中。